

JICA と GEAPP が

エネルギー分野における連携協力覚書を締結

2025 年 8 月 20 日

国際協力機構（JICA）は、2025 年 8 月 20 日、人と地球のためのグローバル・エネルギー同盟（Global Energy Alliance For People And Planet Llc.以下「GEAPP」）とエネルギー分野における連携協力の覚書を締結しました。本覚書は、アフリカを含む全世界の発展途上国及び新興国におけるエネルギー・トランジション・電力アクセス向上の取り組みの促進に向け、JICA と GEAPP の両機関が資金・技術面で連携することについて、方向性や意向を確認するものです。署名は、第 9 回アフリカ開発会議（TICAD9）開催中の横浜にて、GEAPP の Chief Executive Officer Woochong Um 氏および JICA 川村謙一理事の間で執り行われました。



世界の未電化人口は約 7.6 億人と、世界の総人口の約 1 割が電力供給を受けられていない状況となっています。特にアフリカにおいては、未電化人口は約 6 億人と、世界の未電化人口の約 8 割を占めており、クリーンな電源の開発とその電源へのアクセス向上は喫緊の課題となっています。一方で、広大な面積、低人口密度、エネルギー源の偏在などのハードルにより、エネルギー開発には工夫が求められており、民間企業を含む各ステークホルダーが連携し、より効果的な取り組みを進めていくことが求められています。

JICA は「すべての人が手頃な価格でクリーンなエネルギーや資源を安定的に利用し、豊かな生活を送れる社会の実現」をグローバル・アジェンダに掲げ、エネルギー・トランジションや電力アクセス向上に資する資金協力や、技術協力を通じた民間投資及び他開発機関との連携を行ってきました。また、GEAPP は、エネルギー・トランジションと電力アクセス向上、雇用創出を目標に掲げ、東南アジア諸国、インド、アフリカを含む全世界の発展途上国及び新興国を対象に活動を展開しており、パートナーとして世界銀行、アジア開発銀行の他、ロックフェラー財団、スウェーデン IKEA 財団等と連携してきています。本覚書の締結により、両機関が互いの活動内容や知見・情報を共有し、パートナーシップを築くことで、エネルギー分野における取り組みを加速することを目指します。

本覚書の締結に際して、GEAPPのCEOであるWoochong Um氏は、以下のコメントを表明しています。

“The energy transition is a global challenge no one can tackle alone. This partnership with JICA shows the power of collaboration: combining our expertise, resources, and shared commitment to drive faster, more inclusive progress. Together, we can build cleaner grids, expand energy access, and create jobs where they’re needed most. Partnerships like this turn ambition into action and deliver real impact for people and planet.”

(日本語訳)

「エネルギートランジションは、誰もが単独では取り組めない、世界的な課題となっています。JICAとのパートナーシップは、協力の可能性を示しており、専門知識や資源、そして共通の使命感を結集することで、より迅速で、より包摂的な進展を目指すことができます。私たちは共に、クリーンな電力網の構築、エネルギーアクセスの拡大、そして最も必要とされる雇用創出に取り組んでいきます。このようなパートナーシップこそが、大きな志を具体的な行動へと変え、人々と地球に実際のインパクトをもたらすのです。」